

上山型温泉クアオルト（健康保養地）推進事業

施策のポイント

温泉街に隣接した里山と標高 1,000 m の準高地をステージに、ドイツで実践されている気候療法、温泉療法の手法による医科学的効果の検証に裏付けられた健康保養地の実現

自治体情報

山形県 上市市

人口 / 34,273 人

標準財政規模 / 7,848,376 千円

担当課 観光課

電話番号 代表 023-672-1111 内線 193

実施主体 上市市温泉クアオルト推進協議会

関連ホームページ <http://www.zao-kaminoyama-de-kenko.com/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類 ⑥イ

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

平成 20、21 年度地方の元気再生事業で本市の「アスリートヴィレッジと市民活動の融合による滞在型快適温泉地環境プロジェクト」が採択され、地域の自然資源と 550 年の歴史を有する温泉を活用し、新たな温泉保養地となることを目指した。

2 取り組みの具体的内容

モニターを募集し、西山（里山）と蔵王坊平（標高 1,000 m）の両コースを使用して、気候性地形療法のウォーキングと温泉療法の医科学的効果検証を 2 ヶ月間にわたり実施した。

また、気候性地形療法の世界的権威ミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授から認定を受けた 6 つのウォーキングコースを設定するとともに、専任ガイド養成のため、ドイツ及び国内先進地である和歌山県熊野で研修を行い、市民ガイド 15 名を認定し、季節に合わせたコースを選び、ガイド同行による気候性地形療法のウォーキングを開催している。

さらに、旅館（宿泊施設）においても、地元食材を使用した低カロリーの健康メニューを開発するなど官民が一体となって健康保養地づくりを進めている。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

温泉保養地としての地位を確立するため、気候性地形療法、温泉療法の医科学的効果を検証した。



4 現在までの実績・成果

医科学的効果検証において、筋力と心肺機能の向上、血糖値の低下、悪玉コレステロールの低下を実証することができた。

気候性地形療法によるウォーキングを平成21年7月から11月までの間、5回開催し、341名の参加者を得た。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

気候性地形療法、温泉療法の医科学的効果を測るため、専門機関に委託するとともに、市民にモニターを募り、59名の参加により2ヶ月間31回の検証プログラムを実施し、一定の効果が実証された。

6 今後の展開と課題

平成20、21年度の取組により設定したツアーコースの普及による市民の健康増進と特定保健指導のメニュー化など医療機関と連携しながら気候性地形療法を中心にした健康プログラムの展開による滞在型保養地づくりを進め、交流人口の拡大を図る。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H21：18,642千円		16,871千円	0千円	0千円	0千円	1,771千円
①～④の名称、 所管など	名称	地方の元気再生事業				/
	所管	経済産業省				
	金額	16,871千円				
	補助率	100%				